

大木製薬株式会社と共同開発

医療施設向け業務用空気清浄機「ウイルオフ」登場！



2011/02/09

このニュースリリースの情報は、発行日現在のもので、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もございます。あらかじめご了承ください。

株式会社カンキョー（代表取締役：田才昭二）はこのほど、主に医療施設、動物病院施設などでの利用を目的とした、空気清浄機「ウイルオフ」を大木製薬株式会社と共同開発いたしました。（発売元：大木製薬株式会社）

「ウイルオフ」空気清浄機は、脱臭剤・殺菌剤として高い効果を持つ二酸化塩素のパックを、空気清浄機本体に定期的にセットするもので、人の多く集まる医療施設などの、冬季のウイルスや細菌対策をはじめとする、環境衛生対策のニーズにこたえる事を目的として開発されました。

これまで、二酸化塩素の効果は広く知られているものの、空気より重いガスの性質から散布しづらく、広い範囲での利用に不適とされていました。

今回、適用面積26畳タイプの大風量空気清浄機と、二酸化塩素パックを組み合わせることで、広いフロアなどでの利用も可能となり、医療施設など、業務用ニーズに適した製品の開発に成功いたしました。

また、二酸化塩素ガスが効果的に散布される専用モードが搭載されているほか、二酸化塩素パックのお取替え時期をお知らせする機能なども充実しており、利用現場スタッフの負担の少ない、カンタン操作設計となっております。

さらに、本体は大型風量タイプでありながら、本体奥行きわずか11.7cmと大変薄く、本体重量もわずか5.0kgと軽量。待合室、ナースセンターなど受付のカウンターはもちろん、わずかな棚などにも設置が可能な、これまでにない、業務用空気清浄機となっております。

### 【空気清浄機について】

回転する高性能フィルター「ハイブリッド・ロータリーフィルター（HRF）」（1）を搭載した空気清浄機です。「HRF」は、これまで独立していた「ファン」と「フィルター」を一つに合体させるという、全く新しい発想から生まれ、フィルター自体がファンの機能を有しています。この「HRF」の搭載で、業界トップレベルの性能（2）を持ちながら、本体の厚みは薄く（3）、且つ、軽量化（4）に成功いたしました。

1:国内外で特許取得 2:集塵スピード約11分、適用範囲～26畳。 3:本体奥行き11.7cm 4:5kg

フィルターが回転することで、これまでにない高電圧（5）をかける事が可能になり、それにより集塵性能を高めることに成功。さらに、内部に「旋回流」「遠心力」が発生し、大風量を実現するとともに、フィルター付近で空気がかきまぜられ高電圧域での接触時間が増えることで、業界トップクラスの集塵性能を可能にしています。（世界初ハイブリッド・ロータリーフィルター方式）

5:16,000V(当社比)

### 【ご連絡先】

株式会社カンキョー

広報：築山

E-mail: [tukiyama@kankyo-eco.co.jp](mailto:tukiyama@kankyo-eco.co.jp)

URL: <http://www.kankyo-new.com>